

■ 本文

- ① 賤しき身なれど、君に召されて宮仕へす。
- ② 思はぬ人に文を見られて、いとはしたなし。
- ③ かかるありさまを見るに、昔のこと思ひ出でられて、涙ぞこぼるる。
- ④ ふるさとの方を見やれば、おのづから人の恋しく思ひ知らる。
- ⑤ 大臣、内裏に参り給ひて、帝に拝せらる。
- ⑥ 殿は今ぞ起きさせ給ひて、御粥など参らるる。
- ⑦ かばかりの川は、いかに深くとも、馬にて渡らるべし。
- ⑧ 心地いと悪しくて、物も食はれず、夜もすがらまどろまれず。
- ⑨ 暗き道なれば、行く先も見られず、ただ手探りにぞ歩む。
- ⑩ をかしと思ふ折は、おのづから笑まるるものなり。
- ⑪ 人に「あやし」と言はれて、いと心憂し。
- ⑫ 春来れば、まつ花のことぞ思ひやらるる。
- ⑬ あまりに遠ければ、声も聞かれず、姿も見えず。
- ⑭ かばかりの文字は、童にても書かるべし。

※①～⑭は「る・らる」の用法を学ぶための誰でも古典塾オリジナル例文（古文の文法にのっとった擬古文）です。実在の古典作品からの引用ではありません。

■ 設問（全27問）

1. 例文①「召されて」の「れ」について、意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答え、その判断の根拠も簡潔に述べよ。
2. 例文①「召されて」の「れ」の活用形（未然形・連用形・終止形・連体形・已然形・命令形）を答えよ。
3. 例文②「見られて」の「られ」について、次の小問に答えよ。
 - (1) 意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答えよ。
 - (2) その意味だと判断できる理由を、「に」という語に注目して説明せよ。
4. 例文②「見られて」が「れて」ではなく「られて」の形になっている理由を、動詞「見る」の活用の種類と「る・らる」の接続のきまりにふれて説明せよ。
5. 例文③「思ひ出でられて」の「られ」について、意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答え、その根拠も述べよ。
6. 例文④「思ひ知らる」の「る」について、次の小問に答えよ。
 - (1) 意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答えよ。
 - (2) その意味だと判断できる理由を、「心情語」「おのづから」という語にふれて説明せよ。
7. 例文④「思ひ知らる」の「る」の活用形を答えよ。

8. 例文⑤「拝せらる」の「らる」について、意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答え、その根拠も述べよ。
9. 例文⑤「拝せらる」が「らる」の形（「る」ではない）になっている理由を、直前の動詞「拝す」の活用の種類にふれて説明せよ。
10. 例文⑥「参らるる」の「らるる」について、意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答え、その根拠も述べよ。
11. 例文⑥「参らるる」の「らるる」の活用形を答えよ。また、その活用形である理由（下に続く語）も述べよ。
12. 例文⑦「渡らるべし」の「らる」について、意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答え、その根拠も述べよ。
13. 例文⑦「渡らるべし」を現代語訳せよ。
14. 例文⑧「食はれず」「まどろまれず」の二つの「れ」について、共通する意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答え、その根拠を「打消」という語を用いて述べよ。
15. 例文⑨「見られず」が「れず」ではなく「られず」になっている理由を、接続のきまりにふれて説明せよ。
16. 例文⑩「笑まるる」の「るる」について、意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答え、その根拠も述べよ。
17. 例文⑪「言はれて」の「れ」について、意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答え、その根拠も述べよ。
18. 次の二つの「る」は、それぞれ何か。文法的な違いがわかるように説明せよ。
 - (1) 例文⑪「言はれて」を「人に言はる」と言いかえたときの、終止形「言はる」の「る」。
 - (2) 「花咲ける春」の「咲ける」の「る」（連体形「る」）。
19. 例文⑫「思ひやらるる」の「るる」について、意味（受身・尊敬・自発・可能のいずれか）を答え、活用形もあわせて答えよ。
20. 例文⑬「聞かれず」、例文⑨「見られず」、例文⑭「書かるべし」の三つについて、「る」が付いているもの（「らる」でないもの）をすべて選び、それぞれの直前の動詞の活用の種類も答えよ。
21. 「る」は四段・ナ変・ラ変の未然形に接続し、「らる」はそれ以外の活用の動詞の未然形に接続する。次の動詞に「る・らる」を付けるとき、「る」が付くものをすべて選び、記号で答えよ。

ア 思ふ（四段） イ 受く（下二段） ウ 死ぬ（ナ変） エ 見る（上一段） オ あり（ラ変） カ 寝（下二段）
22. 前問21で「らる」が付く動詞を一つ選び、活用の種類とともに、なぜ「る」ではなく「らる」が付くのかを説明せよ。
23. 助動詞「る・らる」の活用は、ある活用の型とまったく同じである。その活用の型の名称を答え、「る」の活用を六つの活用形の順（未然・連用・終止・連体・已然・命令）に並べて書け。
24. 例文①「召さ」、例文⑥「起きさせ給ひて」には、それぞれ「す・さす（せ・させ）」の形がある。「る・らる」と「す・さす」は意味がどう違うか、「る・らる」にはない意味は何かを明らかにして簡潔に説明せよ。
25. 例文①③④⑤⑥⑦⑧⑩⑪の「る・らる」を、受身・尊敬・自発・可能の四つに分類し、それぞれどの例文番号がどの意味かを整理して答えよ。

26. 助動詞「る・らる」が「可能」と判断できるのはどのような場合か。本文で学んだ定番の見分け方をふまえて、一文で説明せよ。
27. 助動詞「る・らる」が「自発」と判断できるのはどのような場合か。一文で説明せよ。